



新中PRIDE

新野中 学校だより2024年(令和6年)12月12日



(No.13) 12月12日号

発行 学校長 岡田 栄司

冬です。

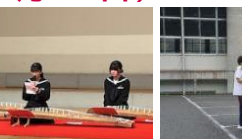
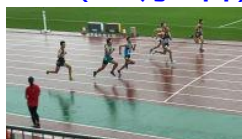
この「新中PRIDE」の発行を一月余りさぼっているうちに、すっかり冬が到来しました。寒さが身に沁みます。体調を崩している人もいますようです。私は、風邪をひきやすい上に、風邪をひくと長期間体調不良が続きます。今年の3月には新型コロナウイルス感染症に初めて罹患しました。数年前にインフルエンザにかかった時は、三日ほど関節と足の筋肉の痛みが止まらず、家で七転八倒しました。体調管理しっかりしたいと思っています。

3年生は進路決定を控え、焦っている人もいるかもしれませんね。しかし、焦る必要はありませんよ。体調が悪いときはじっくり療養しましょう。急がば回れです。

今年もあと少しとなりました。今年の漢字や今年の流行語、10大ニュースなどが話題となっています。今年も楽しく過ごせたのは、みなさんやみなさんの保護者の方々、地域の方々、そして信頼する新中職員のおかげです。感謝とともに新年を迎えたいと思っています。みなさん、今年もありがとうございました。ご家族にもよろしくお伝えください。

初冬の新中いろいろ

陸上秋季カーニバル(11月2日) 市中音楽祭(11月12日) PTA資源回収(11月16日)



歯磨き指導

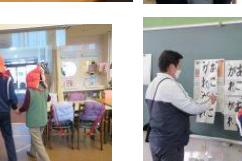
「論理的思考を育む集団ゲーム」と「球技大会」(11月16日)



税の作文表彰・デートDV防止教室(11月22日) 保健体育科研究授業(11月25日) 新野支部人権教育研究会(12月7日)



2年生職場体験学習(11月21日～22日)



各行事の詳細はぜひ、ホームページをご覧ください

市中統一大会阿南市教育委員会指定学力向上(GIGA)研究発表会

11月にはPTA資源回収へのご協力ありがとうございました。終了後は、雨天でオリエンテーリングが中止となりましたが、1時間目は「論理的思考を育む集団ゲーム」、2時間目は「球技大会」と、先生方が代替行事を企画してくれ、とても盛り上がりました。市中音楽祭では、夢ホールの舞台上で5名の箏曲部員が見事な演奏を行いました。税の作文では本校3年生が阿南税務署長賞をいただき、所長さんが直々表彰に来てくれました。

11月21、22日は、2年生が職場体験学習に参加しました。今年も阿南市内の各事業所にご協力いただき、有意義な体験ができました。私たちが中学生の頃にはなかった学習ですが、たった二日間とはいえ、自分の興味のある職業を間近でみて、体験できたことは貴重な経験だったと思います。新野町内の各事業所の皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。

~~~~~

12月4日には「阿南市中学校統一大会」と呼ばれる研究会がありました。この研究会は阿南市中学校の全教員が集まって研修する会で、今年は本校と加茂谷中学校で、「阿南市教育委員会指定学力向上(GIGA)研究大会」として実施されました。ちなみにGIGAというのは、

### Global and Innovation Gateway for All (全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)

の略で、2019年に開始された、全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータ端末と高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みの事です。ですからこの研究大会では、一人一台端末の有効活用を始めとした様々な「学力向上」についての取組の成果として、本校生徒たちが生き生きと学習に取り組む様子、また本校職員のタブレット端末を始めとしたICT機器を有効に活用する様子を参観していただきました。

今回の阿南市指定研究が、「阿南市教育委員会指定学力向上(GIGA)」と学力向上という言葉の後に、わざわざ「GIGA」という言葉が入っているのは、「一人一台端末の有効な利活用の研究を進めてほしい」という教育委員会の熱い思いがあるからでしょう。一人一台端末等を整備するにあたり、国・県・市は莫大な手間と費用をかけているわけですから、「一人一台端末を使わなくても、学力が伸びればそれでいい」などとは絶対に言えないわけです。

それにしても、今回の研究指定を通しての本校職員のICT活用能力の向上には目を見張るものがありました。生徒たちが生き生きと活動に取り組んでいたり、タブレットを駆使して見事なレポートや作品を作ったりしているのはもちろんですが、それを指導・管理する教職員が、まったく躊躇なく機器を使いこなし、興味深い授業を展開していく姿に、大変感心させられました。いやはや生徒も職員も実に柔軟で、発想豊かです。

とはいえ、課題もあります。なかでも私は「ICTの有効活用」を「言語活動の充実」にどう繋げていくかは大きな課題だと感じています。ICT機器もタブレットもAIも本当に便利ですが、それによって自分の言葉で伝える機会が減ったのでは本末転倒のように思います。

こういった機器等を有効に活用し、得た知識や情報を取捨選択しながら、「自分の言葉で生き生きと伝えること」ができる。それが本当の「生きる力」であり、そんな生徒を育てていきたいと考えています。

## 市中統一大会阿南市教育委員会指定学力向上 (GIGA)研究発表会(12月5日)



## 箏を寄贈していただきました



箏の寄贈がありました。新中新聞でまた、改めてご披露いたします。